

四国愛友会会報

第 1 2 3 号

平成 15 年 7 月



目 次

NTTグループの動き	2
NTT平成十四年度決算	2
主要ネットワーク商品販売状況	2
お知らせ(その1)	2
第三十二回四国地方本部総会開催	3
(慶弔等の運用の見直し)役員人事の報告を含む)	3
高齢者に対する叙勲を受けられた方	3
年金情報	3
厚生年金基金の「代行返上」について	4
会社紹介	4
NTT四国電話帳株式会社	5
お知らせ(その2)	5
『会員名簿』の発行について	5
健康のページ	5
薬用植物とのふれあい	6
ドキュメント	6
「いろはカルタ」で	6
ふるさと歴史の普及が生きがい	7
私は今	8
M・Mコーナー	8
八十歳の手習いパソコン入門	12
サークル紹介	12
話友会民踊部(愛媛)	12
緑台クラブ(徳島)	12
ボランティア紹介	12
ボランティア紹介	13
俳句(徳島)	14
敬弔・物故者叙位叙勲	14
表紙の言葉・編集後記	14
テルウェル・ホームヘルパー養成講座のお知らせ	15

NTTグループの動き

NTT平成十四年度決算

「NTT西日本も含めて黒字に転換」
売上高は電電公社以来初めての減

NTTグループ（三百三十五社）の平成十四年度連結決算が五月十三日に発表されました。

これによると平成十四年度の売上高（営業収益）は、十兆九千二百三十一億円であり、前期よりも千四百六十六億円（0・9%）減となりましたが、最終損益は二千三百三十四億円の黒字という状況でした。

売上高が前期よりも減るということは、電電公社、NTTを通じて初めてのことで、ということもあり、マスコミでも“かいびやく以来の減収”などと報道されました。

売上高の減少は一言で言えば、NTT東・西やNTTコミュニケーションズにおける固定電話系収入の下降に歯止めがかからず、一方、前期まではこれを補っていたNTTドコモにおける移動系収入も一時の勢いがなくなつたことによるものです。

それにもかかわらず最終損益は黒字になりましたが、これは、昨年実施された構造改革によって費用が大幅に抑えられたことにより、営業費用が九兆五千五百九十六億円に収まったことによるものです。（前期よりも一兆四千六十六億円、率にして12・8%減少）

特に、NTT西日本においては、会社設立以来の目標としていた「平成十四年度単年度

黒字化」を達成できたということは快挙とも言えることです。

また、グループ全体での次期（平成十五年）の見通しも同時に示されましたが、それによると営業収益（売上高）は十兆九千二百億（十四年度より三十一億円減）と若干の減収見込ですが、事業の効率化を図ることにより最終利益は四千五百三十億円と予想しています。

NTTの14年度決算概要

(単位：億円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
NTT 連結	109,231 (▲1,046)	14,050 (14,955)	2,334 (10,680)
NTT 主要会社			
持株会社	2,220 (▲921)	154 (▲773)	811 (▲56)
西日本	22,150 (▲1,916)	449 (2,154)	193 (3,747)
東日本	23,522 (▲2,214)	633 (558)	30 (1,898)
コミュニケーションズ*	11,520 (▲1,230)	1,432 (681)	136 (4,243)
データ(連結)	8,321 (301)	473 (1)	285 (21)
ドコモ(連結)	48,091 (1,498)	10,430 (866)	2,125 (3,287)

注：下段は対前年度増減額

NTTの14年度主要ネットワーク商品販売状況

(単位：千回線)

	西日本(上段) 東日本(下段)	合 計
一般加入電話	▲74(25,540) 62(25,088)	▲12(50,628)
INS合計	▲431(4,868) ▲591(5,260)	▲1,022(10,128)
フレッツ・ISDN	▲30(621) ▲2(651)	▲32(1,272)
フレッツ・ADSL	673(1,127) 917(1,430)	1,590(2,558)
Bフレッツ	82(88) 99(111)	181(199)

注 ①()内は、14年度末施設数

②INS合計：INS64+INS1500(10倍換算)

主要ネットワーク商品販売状況
——ブロードバンド系へ大きく変化——

NTT東・西の平成十四年度におけるネットワーク系商品の販売成果をみると主要商品では表のようになっていきます。

これを見ると、前年度（十三年度）まで増えてきたINSが、十四年度には一転して純減となり、それに代わってブロードバンド（高速・大容量）系の「フレッツ・ADSL」が一挙に主役商品となって来ています。

（これには、値下げ、割引等を含めた、他社との激しい競争を伴っています）。

平成十五年度には、光回線によるブロードバンドの本命としての「Bフレッツ」にも更に力を注ぐこととしています。

お知らせ (その1)

第三十二回四国地方本部総会開催
平成十五年事業計画決まる

電友会四国地方本部は、四月二十四日、えひめ共済会館で、第三十二回総会を開催しました。

昭和五十六年の第十回総会（当時は、前身の「電友会四国連合会」）のときから「四国電信電話会館」（その後の「NTTプラザ松山」）を会場として以降、二十二年間にわたるNTTプラザ松山での総会でしたが、今回、前記の会場に変わっての開催でした。

総会は、まず、物故会員に対する黙祷に始まり、芳野本部長の挨拶、伊藤NTT西日本愛媛支店長及び荒木電友会本部副会長からの祝辞、「電友会ボランティア活動賞」受賞者の紹介等が行われました。

徳島の濱口倭代代議員を議長に選出した後、議事に入り、平成十四年度事業報告、収支決算及び会計監査報告が原案どおり承認されました。

続いて平成十五年度事業計画及び予算が審議され、次のとおり決定されました。

一 会員が生き甲斐を感じる施策等の推進

会員が生き甲斐を感じることへのお手伝いとして次の施策を推進します。

(1) 会員やグループのボランティア活動の顕彰に努め、その活動状況を会報やホームページ等で紹介します。

(2) 会員相互の連携強化のため、サークル活動の支援、レク活動の実施等に取組む

平成15年度予算書(一般会計)

(収入の部)

(単位:千円)

科 目	金 額	記 事
前 期 繰 越 金	554	
会 費 等 収 入	949	支部から
分 担 金 収 入	1, 350	NTTから(総会費、会報費、名簿費の一部)
配 付 金 収 入	7, 253	本部から(人件費、運営補助費、評議員会費の一部)
総 会 収 入	60	祝い金
広 告 収 入	880	会報及び会員名簿に掲載
利 息 収 入	0	50円
そ の 他 収 入	1, 040	保険周知宣伝協力費、公職等就任調査費
仮 受 金	127	
合 計	12, 213	

(支出の部)

科 目	金 額	記 事
事 業 費	2, 410	会報発行費、名簿発行費、慶弔見舞金
会 議 費	2, 150	総会費、本部理事会、本部評議員会、事務局長会議、地本理事会、編集委員会等
事 務 費	5, 829	人件費、用品費、通信費、コピー機借料、データベース整備等
会 費 等 支 出	1, 284	支部へ(運営補助費)
そ の 他 支 出	170	支部へ(保険周知宣伝協力費)
支 出 計	11, 843	
予 備 費	100	
次 期 繰 越 金	143	
仮 受 金 繰 越	127	
合 計	12, 213	

◎特別基金(特別会計)の繰越金は、1, 257千円です。

- こととし、活動等を会報やホームページで紹介します。
- (3) インターネット愛好会の会員拡大を図るとともに、ホームページの充実に努め、会員の交流と親睦等に資することとします。
- (4) NTTグループが行う社会福祉活動について、その周知に努め、積極的に参加・協力します。
- (5) 年金・介護保険問題について、会報等で情報提供します。
- (6) 団体割引の有利性を生かせる電友会会員向けの保険(自動車・団体傷害・がん保険)について会員に周知し勧奨に努めます。

三

会組織の強化
組織の拡充・強化を図るため、次の施策を推進します。

二

- NTTグループに対する支援・協力活動
NTTグループとの連携を強化し、次の支援活動等を推進します。
- (1) マルチメディアの普及に協力するため、パソコン教室等を実施するほか、指導者の確保・育成に努め、インターネット利用者等の増に協力することとします。
- (2) NTT等が実施する各種施策を積極的に支援・協力します。
- (3) 地域における会員の活動状況等を調査し、NTT等との連携活動に活かします。

- (1) N T T グループの退職予定者説明会等での入会勧奨と、その後のフォローに努めます。
- (2) N T T グループ会社との連携を深め、退職者の入会勧奨を強化します。
- (3) 未加入者の入会勧奨について、全会員による“日常的呼びかけ”を行います。
- (4) 会報や会員名簿の「手配り」を更に拡大し、会員相互の直接の交流及び連携と絆の強化に努めます。

☆ 慶弔等の運用の見直しについて

(総会での審議事項)

今回の総会で「慶弔等の運用の見直し」についての提案が審議され、会員が白寿、米寿にあたる場合、今まで地方本部と所属県支部の両方からお祝いが贈呈されていたものを、同じ電友会組織からの重複を避ける意味等から、地方本部からの贈呈は廃止することとなりました。(平成十六年度から廃止)

◎ 役員人事について (総会での報告事項)

今年は地方本部役員の改選年ですが、白石春三、森川清和の両本部長が退任されることに伴い、当日開催された理事会で、次の方々が新役員に選任されました。

本部長 芳野 運 (愛媛)
副本部長 田中 一馬 (愛媛) (新任)
資延 隆 (香川) (新任)
旭野 明 (徳島)
楠瀬 邦夫 (高知)

理事

藤本 迪雄 (愛媛)
中山 忠彦 (香川) (新任)
藤丸 浩史 (徳島)
岡林 圭一 (高知)
中藤 桂 (愛媛)
仲神 徳彦 (愛媛) (新任)
(注) 氏名の後の無印は再任

会計監事

高齢者に対する叙勲を受けられた方

勳五等瑞宝章 井上 廣次 様 (伊野町)
勳五等瑞宝章 山本 一雄 様 (松山市)
受章おめでとうございます。ますますお元気で過ごしてください。

年金情報

厚生年金基金の「代行返上」について

最近、厚生年金基金の代行返上という言葉を新聞などで見かけます。N T T 厚生年金基金も代行返上が計画されています。概要は次のとおりです。

問① 「代行返上」とはどういうことですか？

答① 厚生年金基金は、国の厚生年金の一部を肩代わりし、それに企業独自の上乗せ給付を行っています。

国に代わって給付を行っている部分を代行部分と言い、これを国に返すことを「代行返上」と言います。

(注) 厚生年金基金制度は、昭和四十一年に創設されたものですが、N T T グル

ープは、年金が厚生年金に統合された平成九年に、N T T 厚生年金基金を発足しました。

厚生年金基金には、国の厚生年金の一部を肩代わりして年金給付を行うことが法律で義務付けられています。平成十四年四月の確定給付企業年金法の施行により、代行部分を国に返上することが可能となりました。

なぜ「代行返上」するのですか？

従来は、基金が代行部分を含めた資産(事業主負担+加入者負担でできた資産)を運用することによって掛け金の値下げ等に有効に使うことができませんでした。

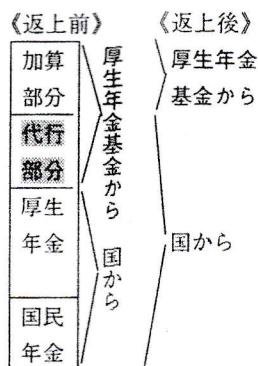
しかし、超低金利の昨今、資産運用の環境が厳しい状態が続いています。

そこで、N T T 厚生年金基金も将来の運用リスクを軽減するため「代行返上」する計画としました。

問③ 「代行返上」とすると、私の年金はどうなりますか？

答③ 「代行返上」しても、代行部分に相当する年金は、厚生年金として国が支給することになりますから、受け取る年金の総額は変わりません。(図参照)

厚生年金基金の「代行返上」イメージ



会 社 紹 介

会 社 概 要



- ・ 商 号 エヌ・ティ・ティ四国電話帳株式会社
- ・ 所在地 愛媛県温泉郡重信町田窪一九四〇一
- ・ 代表取締役社長 農本 芳正
- ・ 設 立 昭和三十五年七月二〇日
- ・ 従業員 一九二名(平成十五年六月一日現在)

は じ め に

当社は昭和三十五年七月に「電通印刷(株)」として設立され、松山市朝美町で電電公社の各種資料印刷を中心に事業を行ってまいりました。

昭和四十四年には現在の地に移転し、電話加入数の増に伴い四国の電話帳印刷会社として、年々拡大発展してきました。

その間、昭和四十一年には^{電通印刷}電気通信共済会の出資を得て「四国電通印刷(株)」に、平成七年にはNTTの出資を得て「エヌ・ティ・ティ四国電話帳(株)」と社名変更を行いました。

その後、電話帳事業の構造改革の一環として平成十一年四月には、電話帳広告販売会社の「四国タウンページアド(株)」と合併。平成十三年七月には、テルウェル電話帳部門の受け入れ。平成十五年三月には電話帳印刷・製本業務および一般印刷業務を「(株)NTTタオリス」へ移管し、平成十五年度から電話帳の広告販売・編集会社として新たにスタートいたしました。

主 な 事 業 内 容

四国地域におけるNTT電話帳(タウンページ・ハローページ)の広告販売および編集業務を取扱っているほか、インターネットによるタウンページの普及拡大のためインターネット広告の販売に力を入れております。

また、電話帳に関する総合受付窓口となる全国四センターの一つとして、平成十二年に設置された「タウンページセンタ」において、全国のお客様からの問い合わせに対応しております。

今 後 の 動 向

本格的なブロードバンド時代の到来、広告媒体の多様化、不況による広告費の見直し等により、これまでの紙の電話帳広告収入は大きく減少しており、当社事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

このような状況を脱するため、電話帳の利便促進と、媒体価値の向上を目指して、次のような取り組みを行うこととしています。

① 広告販売から電話帳発行までの期間短縮
(新鮮な情報の提供)

② 新規格広告の開発

③ 消費行動に合わせた収録方法の見直し
利用に合わせた「ビジネス用」と「一般用」に分けた電話帳作成 等

④ 一方、IT時代に対応した、新鮮で、多くの情報発信が可能なインターネットタウンページ広告は年々増加し、これからの広告媒体として注目されており、今後、主力商品として成長させていくべく販売強化を行ってまいります。

また、三年目を迎えた「タウンページセンタ」は、当社事業の二本柱の一つとして定着し、全国からの問い合わせに対応しておりますが、今後はこれまで以上のサービス向上に向け取り組んでいるところです。

本年三月で、印刷・製本業務を終了し、販売編集会社として再スタートしたことから、「全社員が販売員」をモットーに頑張っているところです。

お 知 ら せ

(その2)

「会員名簿」を発行します
内容に変更がある方は連絡を

今年は「会員名簿」を発行する年です(十月発行予定)。平成十三年発行の「会員名簿」と平成十四年発行の「補正版」がベースになります。掲載内容に変更がある方で、連絡をいただいていない方は、八月二十日までに各県電友会事務局へご連絡ください。(事務局)

健康のページ

薬用植物とのふれあい

N T T西日本松山病院
薬剤科部長 大上 敏明



退職された方から、カメラを片手にあちこち歩いているという話を伺いました。非常に楽しそうで健康的な趣味だなと思いました。

きれいな空気の中で歩くということは、素晴らしいことです。そして、今までなんとなく見てきた花や木をじっくりと見るができます。そして、これら身の回りの植物は、ずい分「薬」として利用されているのです。これから皆様が目にする機会があるだろうと思われる植物を、少し紹介したいと思います。実際に皆様がこれらの植物に出会った時に、少しでも思い出していただき、その際、ご自身の健康を見つめなおす機会になれば幸いですと考えています。

芍薬（しゃくやく）と牡丹（ぼたん）

「立てば芍薬座れば牡丹」という言葉があります。両方共きれいな花を咲かせ、並び称されます。

漢方の世界では、腹が立てば芍薬、お尻が重く座ったままなら牡丹というような解釈もします。花の大きい方が牡丹です。また、牡

丹は木ですが芍薬は草に分類されます。薬として利用するとき、牡丹は根の皮を用い、芍薬は根を用います。

芍薬は非常に多くの薬に配合されています。有名な葛根湯にも使われています。痛みやケイレンを和らげる作用があり、「芍薬甘草湯」に配合され、また、女性薬として有名な「当归芍薬散」に配合され、生理に伴う体調不良、不妊、流産防止などに用いられます。牡丹も牡丹皮として、漢方薬に配合されます。

朴の木（ほうのき）

朴の木と言えば、その葉を使った朴葉焼きが有名ですね。テレビの旅番組で見ることがあります。葉の大きさは日本一ではないかと言われ、その上に山菜と味噌を乗せて焼くのが朴葉焼きです。他に朴葉ずしというのも聞きます。

この木の樹皮を乾燥して生薬として用います。これは厚朴（こうぼく）と呼ばれます。味は苦く、胸腹部の膨満感や、腹痛に用いられます。

朴の木で頭に浮かぶのが、「念ずれば花ひらく」で有名な詩人の「坂村 真民」さんです。砥部町にお住まいですが、二年前のインタビュー記事をそのまま紹介します。

（質問）真民さんは朴の木がお好きですね。

（坂村）朴の木は、そばに木があると遠慮して十年も芽を出さないといわれるほど心遣いをする、目立たない木です。それが好きですね。朴の木の葉は裏が白いので、風が吹くと手を振っているように見える。葉の香りがいいので、ほおば味噌やほおばだんご、ほおば

もち、ほおばずしなどもあります。私は全国朴の会を作って、朴の木を植える運動を進めています。詩墨展には大きな朴の葉に字数書いて出しましたよ。

紫蘇（しそ）

紫蘇には赤紫蘇と青紫蘇の二種類がありますが、青紫蘇はもっぱら食用に使われます。刺身の下敷きに使われたりしますが、生魚の臭み抜きと、毒消しの作用があるのはおなじみです。

薬用には赤紫蘇を用います。アントシアンという色素を持ち、梅と一緒に漬け込めば梅の酸により、梅干の鮮やかな色になります。ところで、紫蘇の「蘇」という字は、医療の世界でも蘇生という言葉がありますが、「蘇」を辞書で引けば「よみがえる」と出ています。奈良、平安時代に中国から入り、人を蘇らせるので「蘇」の字がついたと言われています。「蘇」の字をもう少し調べてみると、「魚」と、稲や穀物を表す「禾」という字が並んでいます。これは関係ないものが並んで、すき間のあることを意味するそうです。紫蘇は葉がすきすきに付いている草ということになります。そして、喉にすき間を作って生き返らせるということで、蘇生というようになったようです。

芍薬、牡丹、朴の木、紫蘇を紹介しましたが、我々の周りには数多くの薬用植物があります。そして、自然はうまく出来ているなど実感できます。もっともっと自然に触れて、自然を大事にしなければと思います。

ドキュメント
人生さまざま・後半生を生きる

「いろはカルタ」で
ふるさと歴史の普及が生きがい

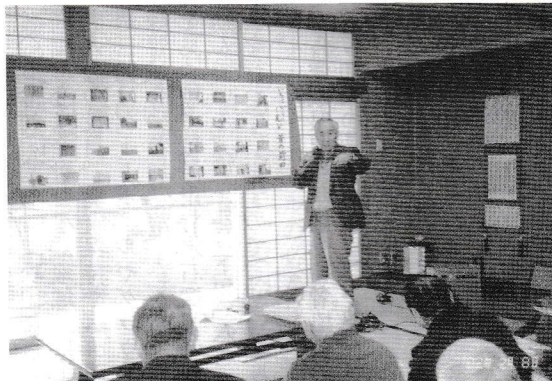
①は、一里町藩政時代の名残なり。②は、六根清浄の音がする山上山、このような、いろは四十七文字の読み札とそれに関する写真を集め、郷土の史跡や地名、伝説等の由来を、老人会や小学校の子供たちに語り伝えることを生きがいに行っているのが、高松市前田東町の森安 明さんです。

森安さんは大正十三年生まれの七十八歳。昭和三十三年に、当時の香川電気通信部から四国電気通信局に転勤以来、徳島、愛媛、高知に転勤し、昭和五十五年に退職して二十二年振りにふるさとに帰りました。

退職後は、第二の職場で十年間勤め、電友会香川支部の常任幹事及び副会長、OBボランティア会長、地区では自治会長、老人会副会長、クラブ会長等々を歴任されました。

森安さんがふるさとの歴史に興味を持ったのは、平成四年、地区の公民館講座「ふるさとを歩く」に参加してからです。その講座内容が古くは宮處郷（みやどころこう）と呼ばれ、古い寺跡や由緒のある地名が多くあり、それを物語るように県指定史跡の古墳をはじめ三十基に及ぶ古墳が有ることを知り、「ふるさと再発見」と言うか、ふるさと歴史の深さを痛感してからです。それを契機に郷土史をはじめ郡誌、県史などを読みあさり、地区の歴史を勉強したそうです。

平成八年頃から、老人会や公民館から地域探訪の案内や、講話を頼まれるようになり、平成十二年には小学校に初めて地域探検クラブができました。森安さんはガイド役を依頼されて、四年生以上の十一名、週一回、五十分以内で十一回も案内し、以来、毎年つづけています。



森安さんがそれで感じたことは、学校から往復五十分の条件では案内場所が限定される悩みでした。何とかいい方法がないかと、ふと思いついたのが「いろはカルタ」という発想でした。四十七文字には限界がありますが、前田の歴史のエキスを紹介できると思ったのがきっかけだそうです。

その実行を、平成十三年病氣後の療養中、時間的にも十分余裕ができたので四か月程度

かけて、読み札とその説明を「いろはカルタ」で見ると、昔の前田という小冊子にしました。

次に、読み札にふさわしい写真を一か月程度かけて集め、読み札と写真を組み合わせ画箋紙三枚にまとめ、平成十三年十月地区の文化祭に出展しました。

ところが、それが地元通信員の目にとまり、十二月十一日の四国新聞に掲載、続いて十二月十七日の西日本ラジオ放送に生出演と急展開、知人から「新聞見たよ。ラジオ聞いたぜ」という激励を貰い、今更、マスコミの力には驚いたそうです。

その後、地元の特養老人ホーム、公民館、郵便局にもそれを展示し、また、説明用の小冊子も六十部作成し、希望者に配布するなどふるさと歴史の普及に努めています。

一方では、これを機会に本物のカルタを作つてはというアドバイスを頂いて、小学生に絵を画いて貰い、現在、十八枚出来上がっていますので、残りは夏休みに完成したいと頑張っています。また、毎月発行の「公民館だより」に「古里探訪」として連載しています。

森安さんはそれらのことを通して、子供達がふるさとの歴史を知り、先祖の偉大さ、大切に気付き、少しでもふるさとを愛する心を培ってほしいのと、今後、益々高齢化が進む中で、老人同志の交流の場の一助になればと思っています。

このようなふるさと歴史の普及や、他方では、書道の準教師取得後、教師取得試験を目指し頑張っている姿を見て、何事にもプラス志向の生きざまに強くひかれました。

（山本編集委員 記）

私は今

◇ 石川 光一 (高瀬町)

月日は百代の過客にして・・・歳月の流れは早いものです。N.T.T.を退社して十年、平成十三年にはドコモ四国を退社。その後、人のため世のためになることは・・・とホームヘルパーの講座を受講、資格取得。

昨年、四十五年ぶりに故郷へ。無農薬の野菜と米でも作って自給自足を考えていた矢先、一人暮らしであった母が脳梗塞に。ヘルパーの知識を活かして「為せば成る」の精神で介護に努めています。

また、地元の自治会役員、町の保健委員など、結構、忙しい毎日を送っています。

◇ 石川 房子 (観音寺市)

私は乳癌を手術し退職して、はや十五年が過ぎました。

年金友の会に入って、春秋旅行を楽しんでいます。もう七年目です。毎日、練習が楽しく雨の日も練習します。おかげで香川県で優勝し、ねんりんピック全国大会に出場できました。また、日本選手権と、今年もねんりんピック徳島へ二回目の出場です。足腰を鍛えるため、スイミングで泳いでいます。

おかげで健康で楽しい日々を送っております。福祉のお手伝いもしております。

◇ 井上 幸子 (伊野町)

夢見る夢子さんが職場訓練で教わった「清く、正しく、美しく」、すぐ気がつきました。世の中そんなに甘くないと。今までに大波小

波をかいくぐってきて得た人生訓「目には爪を歯には牙を」、これをモットーとしています。九十一歳の元気で勝気な母と気の弱い娘の二人三脚、親はいつまでも親、私の心配ばかりしています。

絵手紙、詩作りなどの趣味、地域のボランティアもそこそこにやっています。

生活の中に少しの幸せをみつけ、一日一笑で日々を過ごしております。

◇ 今村 旭 (松山市)

昔は高橋、今は今村です。地域では土地改良区や老人会の役員。健康保持やボケ防止のため、週三回はゲートボールやグラウンドゴルフの練習試合に参加。

余暇を見つけては河川で水石探しとか台座造りに励んでいる。毎年九月下旬「八石之会」が展示会を行っていますので、ぜひ一度ご来場下さい。

今年から愛媛県厚生年金受給者協会の委員を受託。ご加入の希望あればご一報下さい。(〇八九) 九五六一三三三六まで。

◇ 大山 重子 (八幡浜市)

「日々是好日」

私の一日は、朝、シーコ「猫」と共に起きることから始まります。最初にすることは、シーコに餌を与えることです。フードなのでカリカリと音をたてて食べています。この音を聞きながら、自分の食事の時間です。今日一日の予定を考えて食事を済ませます。

私の健康法は、朝と夕方のコーギ犬、サクラとの散歩です。シッポがあるか無いかのお尻、足が短く、でもかわいい犬です。

夕方、散歩していると、中学生との出会いがあり「今日は」と挨拶があり「さようなら」と私は返事をします。ただこれだけの言葉ですが、心の中が爽やかになります。

趣味は三十年来の茶道です。週一回のお稽古日を楽しみにしてお友達と抹茶を点て、点前の時は、足の痛さを忘れてしまいます。

ふと、気が付くと、平凡ではあるが、健康でいる自分がそこに居ます。

◇ 岡村 純雄 (松山市)

加齢とともに部品の劣化が著しく、病院との縁が一向に切れなくなってしまう、三年間通った「健康体操教室」も、ドクターストップが掛かってしまいました。

目下、ウォーキングを日課とし、趣味の囲碁、小旅行などを楽しんでいる他、愛媛新聞社主催の「愛媛アマ囲碁最強戦」の観戦記を書かせてもらったり、時には駄文を認め、同人誌や新聞に投稿するなど、私に与えられた「値千金の一刻」を、無為に過ごさないよう努めています。

◇ 岡村 淑子 (須崎市)

早いもので退職して十二年が過ぎました。

昨年は高知国体の民泊に協力させていただきました。高校生のバレーに年甲斐もなく燃えました。私に出来ることは人の為ではなく自分の為にしようと思います。今は、好きで集める端切に埋もれ、目がさめると布をつつき、これからは布を作ることに挑戦しようと、機を始めました。

健康には気をつけて出来るだけ野菜を食べるようにしています。思い出いっぱいの職場

に感謝しつつ、これからも頑張りたいと思います。皆様もお元気で。

◇ 鎌田 紀子 (鴨島町)

退職してやがて十年目を迎えます。よく食べ、よく飲み、よく遊びをモットーに元気で旅を楽しみ、結構遊びまくっています。

が、今年は十月十八日から四日間、徳島が開催県となる「ねんりんピック徳島2003」が行われ、全国から数千名が集まるそうです。

私も食生活改善推進委員の一人、ヘルスメイトとして、食生活部門にお声がかかり、打合せ会や調理実習等、忙しい日々を送っています。今日も昼から徳島県食改協総会に出かけるところです。では、行ってきまーす。

◇ 古谷 美子 (徳島市)

ささやかな人生設計は立てていたのだが、大半が総崩れのハプニング続きたった。

退職直後は、週休二日が欲しい程、いろんなことを手掛けて見たが、今は、勝つこと、上手くなること、強くなろうということではなく、ゆったり、ゆったり、楽しむ境地になっている。

これからもスポーツは続けたいのと、好きな旅をする中で、チャンスがあればシャッターを押す生活がいいと思っています。

往復十五キロ位の所へは自転車で行くことにしているのが維持できるのを願っています。

◇ 近藤 哲長 (松山市)

NTTを退職して十年が過ぎました。その間、八年間テルウェルでお世話になりました。最近、朝二時間ブラブラと近くのミカン

山や、田んぼのあぜ道を散歩し、午後は鉢植えの草花をいじったり、二日に一回くらい図書館へ通っています。

趣味のゴルフは、腰痛、筋肉痛と相談しながら月三回。旅行は家内と年一・二回。

夜はテレビで、お笑い番組とスポーツ放送を見て十時に寝床に入り、囲碁の本が眠り薬となる今日この頃です。

◇ 坂本 佳典 (安芸市)

皆さんお元気ですか。私、第二職場を退職して一年。小さな畑で雑草、虫との戦いの素人百姓や、太平洋の海原を相手に餌まき釣人になり、先輩仲間から奥の深い極意を学びながら、結構忙しい日を過ごしています。

また、オーバーホールの必要な身体も、一病息災を前向きに考えて、家内と散歩やパソコンをして、第二の人生ステップを感動と感謝で楽しんでいきます。

皆さんの御健勝をお祈りします。

◇ 菅原 仁 (大野原町)

第二就職を引退して既に五年になります。身障一級の実母(九十歳)のデイケア送迎、内孫二人、外孫二人の相手と賑やかな毎日をご過ごしています。

しかし、現役時代に単身赴任が長かったため、引退とともに地元の話役が一斉に廻ってききました。町内に鎮座する十一社(氏子数約二千五百戸)の総代連合会と地元八幡神社の世話役、地元寺檀家の世話役など、多忙な日々を過ごし、孫に寂しがられる状況ですが暇の無いのが幸せなかもと・・・思考しております。

◇ 清家 多美子 (松山市)

運用系一筋だった私も、最後の一年間、一六担当を経験し、四年前に退職しました。

当時は色々やろうと思っていたのですが、怠け者の私は腰が重くて。現在はカラオケのみにうつつを抜かしています。教室に通ったりして十年たちます。腹から声を出すことは楽しいです。

健康も現在異常はないのですが、やはり体力の衰えは否めません。皆様どこかで見かけたら声をかけて下さい。三十九年の職場生活が楽しく過ごせたことを幸せに思っています。どうぞ皆様もお元気で過ごして下さい。

◇ 高部 貴美子 (北島町)

退職してから書き始めた十年日記も、早いもので、あと一年を残すのみとなりました。

最初の頃は、暇が出来たのが嬉しく、ドライブ・散歩と出掛けたり、趣味として、社交ダンス、アートフラワー、また、点訳奉仕等をしておりましたが、現在では、週一回の書道講座の受講と、もっぱら孫のお守りに明け暮れております。

ただ、主人と小旅行をしたり、横浜にいる娘の所へ行き、あちらこちらと観光に連れて行ってもらって、ささやかですが楽しんでおります。

◇ 橘 繁隆 (阿南市)

現職時より、ボランティアで当市の体操教室の指導に励んでいるこの頃です。技術習得前の子供達を対象に、柔軟性のある基礎体力が目的です。園児(四歳以上)・小中学生を各指導員が担当し、私は、週一回一時間半余

り指導していますが、小さい子供は、自分にとつて孫のようなかわいい存在です。毎回の練習が楽しみで、心の癒しにつながっています。

現在では、県大会で上位入賞し、全国大会にも出場できるようになりました。「継続は力なり」を合言葉に頑張っています。

◇ 谷本 智 (坂出市)

平成十四年三月、三回目の職場を退職。年金生活に入る。

環境の変化から足腰の筋力低下、胆管結石、腱鞘炎等で体調不良となったが、毎日のウォーク等でなんとか克服。

一年間を充電期間と位置づけ、「香川県農業大学校」へ入学、減農薬有機栽培野菜の自給を目指す。

また、脳細胞活動維持のため、「香川県歴史博物館」のボランティア解説員として、広い年齢層の人々との交流の輪を広げている。

◇ 田淵 祐治 (小松島市)

平成十三年三月に退職して早くも二年が過ぎました。毎日が日曜日のペースにも慣れ、気ままな日々を過ごしています。

退職後、健康に過ごすために禁煙に挑戦、今年の六月で禁煙二年になります。体調がよいですよ。また、毎日、愛犬と共に海岸を四十分程度散歩しています。

今春はちりめんじゃこ(シラス)が豊漁で、近くの広場では天日干しが盛んで、一面雪が降ったような真っ白いシラスでおおわれ独特の良い香りに包まれています。これからも元気で病氣シラス?で過ごしたいものです。

◇ 豊郷 和光 (砥部町)

現在、三人の孫がいます。九ヶ月の女児はとても可愛いです。

私は元気で毎週三日間、伊予鉄ゴルフに早朝(五時半から九時まで)勤めています。お客様との出会いを大切にしており、また、仕事が終わると練習ができるのでありがたいです。

昨年四月から書道に励んでおり、(現在、漢字二段、かな初段)これからも精進したいと考えています。

私の健康法は、適量のお酒と、よく身体を動かすことです。

◇ 中倉 正子 (高知市)

近況お尋ねいただき有難うございます。

退職して二十六年になります。一人身のため、気配にボケないように、習字や水墨画・旅行など楽しんできました。

十四年十月三日、突然、足が立たなくなり困り果てました。車椅子に乗ったまま介護センターへ送迎で、週四日通っています。水・土・日はヘルパーさんに病院へ連れて行ってもらっています。歩行器や手すりですぐ稽古をうにしたいと努力しています。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

◇ 中野 晃美 (徳島市)

退職後、五度目の夏を迎えました。不覚にも三年前と一年半前に脳梗塞を患い左半身に後遺症が残りました。一時は全く動きを忘れていた左手足の指も長い治療とリハビリ(現在も継続中)の結果、今では力は弱いけども

つくりとした動作が出来るまでになりました。

この間は、孫の通う小学校の児童たちに「身近なもの(竹・木片・厚紙等)で作る昔の玩具作り」を教えました。子供たちに好評でしたが、それ以上に、自分の手がここまで回復したことに涙があふれる思いがしました。

◇ 成岡 玲子 (高知市)

自分の健康の為と思い、退職した時より、3B体操をはじめました。それがいつの日か指導者から指導士となり、現在は「はつらつ会」として退職者の人達と週一回身体を動かしています。また、月一回位食事をしたり旅行に行ったりと、みんなで楽しんでおります。

やはり健康であることが一番です。足腰を鍛え健康で安らかな心、健康で美しく、健康で美しく老いる、この言葉のように、一日一日を大切に明るく過ごして行きたいと思っています。

◇ 橋田 功夫 (須崎市)

皆様お元気ですか。私も退職して早いもので三年が過ぎました。夫婦ともども元気で毎日過ごしております。妻は多趣味ですが、私は朝寝坊が続く日々です。

これからは、ささやかな夢や希望を持ち、それに向かつて生き生きと行けたらと思っています。皆様もお元気でお過ごし下さい。

◇ 浜田 英雄 (松山市)

私の日課は、毎日午後から松山総合公園へ

気の合った友人(四名)と“オシャレリ”をしながら、四季折々の花・木の観賞、小鳥の囀りを聞きながらの散策、毎日楽しく過ごすことです。

日曜日は街(銀天街・大街道)へ出て、変わりゆく町の様子を見るのも楽しみの一つです。たまにはゲームセンターで遊ぶこともあります。趣味は、下手な絵を描いたり、草花の観賞・・・とにかくストレスを溜めないよう努めております。

◇ 東 伸行 (高知市)

定年退職後、三年目に入っています。連れ合いが未だ現役のため、“主夫”をしています。ですが、炊事に洗濯と、結構忙しいものです。退職時、地球一周四万キロを目標に始めたウォーキングは、四月末で二、七八七キロ。一年に約一、四〇〇キロでは三十年かかってしまうため、何とか距離を伸ばしたいと思っています。

また、在職中から続いている公民館の役員をしたり、年に何回かは老人ホームなどに慰問に出かけたり、時には旅行に行ったりする今日この頃です。

◇ 柳谷 寛 (高松市)

本年三月末で、三つの会社を合わせ四十五年の仕事歴に終止符を打ちました。

数年前から少し腰痛もありますが、家内へのご苦労様も兼ねて、身体が自由が利く内にと国内を数回に分けて車で回る計画を立て、五月下旬から初回の日本北端を目指して気長な旅に出ています。

一段落したら子供の時から好きな物造りを復活させ、目と指先が動く限り孫達に残せる物を作り続けようと思っています。

◇ 山内 武久 (松山市)

今年三月に心筋梗塞で入院し、PTCA風船療法及びステント留置術を受け、経過良好で、今は月一回通院程度で好きな囲碁を楽しんでいます。

◇ 山本 勝 (松前町)

月日のたつのは早いもので、退職して二十四年になります。

平成七年に町内健康診断を受診の結果、肺内にかすかな雲状の影があると思われるので専門医の精密検査を指示され、結果は早く取り除くようにと言われ、即、外科的治療をしました(右肺上葉切除)。一年後には、また左肺部分切除。快復後には前立腺手術。続いて結腸右半切除と、次々と手術に追いかけられた今日この頃です。

これから人生も明るく楽しく元気よく、今を大切に生きたいと思っています。皆様方のご健康をお祈りいたします。

◇ 吉見 純一 (宇和島市)

退職して八年が過ぎました。この間、色々のことが有りましたが、今は、釣り・書道等趣味が主体の毎日です。

三年前より、OBの人達と畑を借りて無農薬の野菜作りをしております。収穫期には虫食いもありますが、友人等に配っています。ボランティア活動では、瀬戸内海小型船舶安全協会の指導員として、海の安全対策に協

力しております。体調はあまりよくないようですが、一日一日を大切にして頑張っています。皆様もお元気で有意義な人生を送って下さい。

◇ 吉村 克幸 (土佐清水市)

退職して三年が過ぎました。この間に、膀胱結石と前立腺肥大症で二回入院し、糖尿病で二カ月に一回通院しています。

日常生活としては、家庭菜園や果樹の手入(下草刈程度)をしています。庭木の剪定講習(二回受講)やパソコン講習(数回受講)をしました。他家の剪定をする程腕は無く自宅の剪定をするだけです。

パソコンも完璧に出来る訳ではありませんが、補助講師(日当あり)をすることになりました。

あれやこれやで多忙なので、退屈をしている暇がない毎日です。

◇ 渡部 美都子 (松山市)

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私は若くて元気な間頑張った甲斐があり、現在はスポーツジム・伊予漫才・ダンス・パソコン・家庭菜園作り・旅行・フラダンス・易学と、人生の内で最高の幸福の時を送っています。

この幸福に感謝して、ほんの少し老人ホームや地域のボランティアにも参加しています。

後は、残り少ない人生です。後悔のない楽しい思い出作りが出来るように、身体に気を付けて毎日頑張って生きて行こうと思っています。今日この頃です。

M・Mコーナー

八十歳の手習いパソコン入門

森川 清和（高松市）

かつては五十の手習い。今では八十歳の手習いも熟語として通用する時代。それじゃ「加齢」を「華麗」に読み替え、老いに立ち向かってやろうかと、インターネット愛好会の会員に名を連ねさせてもらったが、全く無知の世界、知らぬことはズバリゼロということでも気持ばかりが焦る。

やる以上は、まず本気にならねばと、自前のパソコン購入に踏み切った。これで外堀は埋めた。あとは内堀をと「今に見ておれ僕だつて」の気合いと、噛み付いて離れないネバリ以外に克服の道はないだろうとの、決意を固めている今日このごろ。

パソコン教室で、ボランティアで指導して呉れているサポーターに感謝しながら頑張らせてもらっている。

サークル紹介

話友会民踊部

山下 里江（松山市）

民踊を踊り続けてまもなく二十五年になります。健康で楽しく過ごした歳月でした。私たちの団体は、全国各地の昔から語り継がれている民踊を踊り続け伝承していきま

す。話友会民踊部は、毎週水曜日午後一時半か

ら「OBサロンかつやま」において、和気あいあいと、楽しく踊っています。若さと健康維持に最適です。

また、年一回の「民踊研究発表会」では、一年間の成果を観て頂くため、毎週の稽古にも熱が入り、益々踊りも上達し楽しくなっています。

発表会当日、午前中はリハーサルを行い緊張が高まってきます。いよいよ本番、舞台へ上がっての五分間、さらに緊張の度合いは最高に達します。舞台で満足のいく踊りができると、感激もひとしおです。

(写真上) 晴舞台

での踊り



(写真下) 老人施設

での慰問

さて、私たちは、「OBボランティア」として、施設や老人ホームなどを訪問し、「お誕生会」や「盆踊り大会」などに参加し、お

年寄りや、ご家族の方達に大変喜ばれております。

一度に五、六曲踊りますが、常に何曲か踊れるようにしています。これはなかなか大変なことですが、でも、踊ったあとは皆さんの拍手や笑顔で心も和みます。

昨年、私たち話友会民踊部のボランティア活動に対し、愛媛電友会から表彰の栄誉を受けました。

話友会民踊部としては、これからも、これを励みに益々健康で楽しく踊り続けていきたいと思っています。

会員の皆さま、民踊に興味のある方は、ご入会をお待ちしています。

縁台クラブ（徳島）

若江 太三郎（徳島市）

「縁台クラブ」は、電徳島OBの囲碁サークルとして昭和五十三年九月に結成され、今年で二十五歳の歳月を数えています。

「縁台クラブ」の名付け親である先輩から受け継いできた話としては、現在ほとんどと言つていいほど見かけることがでなくなつた縁台風景ですが、皆が元気で仲良く幸せにこの気持がこめられているようです。

それが先日、徳島城公園を散歩していたとき、助任川が流れている側の一郭に沢山の人が集まっているではありませんか。近づいて覗きこんで見ますと、なんと碁盤、将棋盤を囲んで、まさに縁台で勝負に熱中している人、人、人……に驚きと、懐かしさを覚えるとともに「今もあるんだ！」と感無量でした。

人生の最大の節目に退職があります。仕事をやめた後、何をすれば良いのかなどと考える日々なかで、やはり一番取っ付き易いのは自分の趣味だと思います。かつて同じ母体で仕事をし、気心知れた人達と集う場所ほど心休まることはありません。私もその中の一人として「縁台クラブ」へ入会してから早いもので十三年が過ぎてしまいました。

平成三年四月、「OBサロン・びざん」が退職者のための施設として開設されました。今では多くのサークルが利用しています。

「縁台クラブ」も毎週土曜日午後からは、会員諸氏が集い技量を競って研鑽に励んでいます。会員は現在二十五名で、ここ数年は増えもせず、減りもせず、現状維持で推移しています。

「縁台クラブ」では、年四回の大会（新年一月、春季四月、夏季七月、秋季十月）をOBサロンで開催しています。「縁台クラブ」での昇級・昇段は、この大会が唯一のチャンスとなっています。従って、参加者は一応に今日こそはと勢い込んでみるみたいですが、四戦全勝優勝が条件となっていて、なかなか難しいようです。戦い終わって賞品にめぐまれる人、参加賞のみに終わる人、それぞれ一喜一憂しています。

囲碁は世にボケ防止の最大のゲームとされているようですが、相互のコミュニケーションをとってくれる場ともなります。

徳島県内のOBの方々の中には、囲碁に親しんでいる人がまだまだ沢山いるのだと思います。が、「縁台クラブ」の門をたたいていただき、共に楽しむことを願っています。

そして、OBの皆さんが、元気で、仲良く、幸せな日々でありますことをお祈りしています。



ボランティア紹介

ボランティア N T T 松山 O B 会

村尾 守康（松山市）

私達のボランティアグループは「今日も元気で！」を合言葉に、次のような活動を行っています。

まず、きれいな環境を保ち、かけがえのない地球を守るため、市内を流れる石手川、三坂峠、小田深山でクリーンハイキングを実施しています。N T T 愛媛支店が定期的に行っている梅津寺海水浴場の清掃にも参加しています。

ます。

環境美化の一助にと、N T T のお許しを得て、「N T T O B サロンかつやま」の空き地の一角に花壇を作り、花の苗を植え育てたり、E M 菌を活用した環境浄化にも一役買いたいと、勉強会を開いてもいます。

また、テルウエル愛松園（本年三月に再開）、梅本の里（感謝状を頂戴した）、しらさぎ苑、ていれぎ荘などの施設で、誕生会、お花見、お月見、クリスマスに踊りを披露してお手伝いさせてもらっています。施設入所の方々のお寺詣でや買物に車椅子などで同行するのも喜ばれています。

一方、会員の家庭で眠っている引出物等不要品を提供してもらって販売するフリーマーケットにも力を入れており、物を大切に扱うリサイクルとボランティア活動資金の獲得は一挙両得と自画自賛しています。

私達のグループは、昭和六十一年に当時の先輩のご努力でスタートし、N T T、テルウエルのご支援を受けながら、十七年続いています。昨平成十四年度には、電友会から「ボランティア活動長期継続団体」として表彰していただき、会員一同の大きな励みとなりました。

これからも、自然と人間の共生、お互い（特に、かつて同じ釜のめしを食った者同志）の助け合い、それを通して自分自身の生きがいと健康を伸ばして行きたいと思っています。

会員宅を利用して交流するなど、片意地張らずに仲良くやっていますので、どうかボランティア活動にご参加ください（会員五十四名）。

俳句

眉 秋 俳 句 会 (徳島)

終日の雨葉桜となりいたり

角野 清剛

瀬戸内の海女の墓抱き梅は実

加治 道子

葉桜となりて見守る川の鯉

原 雅峰

一羽また後に続きて巢立鳥

日開 桃花

城垣を覆いて花の通り雨

湯村 二条子

洗わるる思いにひたる花の下

吉田 フジ子

闇よりの蛙の声に目を凝らす

和田 とも子

葉桜の青さ染むとも溶くるとも

長島 正雅

敬 申

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

故人のお名前

逝去年月日

享年 生前の居住地

野本 佐紀雄 様	15	4	12	63	松山市
山内 宜英 様	15	4	15	71	松山市
深田 和男 様	15	4	19	76	高知市
山本 兼義 様	15	4	20	79	川内町
平木 審 様	15	4	22	78	高松市
菊池 道雄 様	15	4	25	85	八幡浜市

物故者叙位叙勲

従六位勲五等旭日章	渡部 出男 様
勲六等旭日章	斎藤 五郎 様
正七位勲六等旭日章	山本 兼義 様
勲六等旭日章	山本 邦彦 様

表紙の言葉

漁 火 (四万十川)

山崎 忠輝 (松山市)

この漁火は、しらすうなぎ漁をする光で、例年一月〜二月は河口を淡い緑色の漁火で埋

めつくして、その間を行き来する船の光跡が冬の四万十の風物詩として、美しい光景を見せていました。

ところが、高値であったしらすうなぎが、近年、中国産が進出してきたため、大幅に値下がりし、しらすうなぎは減る一方となりました。残念ながら、失われ行く一風景となりました。

訂正とお詫び

会報百二十二号(平成十五年四月発行)の中で、次の方のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。(敬称略)

8 ページ中段 2 人目 (誤) 奥田 敏夫 (正) 奥岡 敏夫

14 ページ下段 7 人目 (誤) 谷篠 昭平 (正) 谷條 昭平

編集後記

▽ 今回から会報の印刷原版作成をワープロからパソコンに切り替えました。便利な面がある一方、思わぬ動きに戸惑ったこともあります。あとは習熟するしかなさそうです。

▽ 暑さに向かいます。ご自愛ください。(稲毛)

四国電友会会報 第百二十三号

発行 平成十五年七月一日

編集 電友会四国地方本部

松山市一番町四一三

NTT西日本愛媛支店内

〇八九一九三六二〇二三

印刷 株式会社NTTクオリス

テルウェル・ホームヘルパー『2級課程』 養成講座開講のお知らせ

テルウェルでは社会貢献事業の一環として、下記の要領でホームヘルパー（2級課程）養成講座を開講します。皆様のお申し込みをお待ちしております。

記

1. 研修期間 平成15年7月～平成15年12月下旬
各教室により開講日が異なりますので下記にお問合せ下さい。
2. 募集人員 10名程度（1県あたり） 定員になり次第締め切ります。
3. 受講料 86,250円
※厚生労働省の教育訓練給付制度等との重複援助はありません。
資格取得年度に3万円を援助し、ボランティア活動の状況を考慮し残額を3年に分割して支払います。
4. 対象者 NTT様・NTTグループ各社様等の社員及び退職者並びにその御家族の方。
5. 研修 NTT・NTTグループ現職の皆様にも、受講しやすい通信教育です。
ただし、スクーリング及び実習については13日間程度の出席が必要です。



ステップ1	ステップ2	ステップ3
自宅学習 通信制  [介護の基礎知識をテキストで学びます。] 学科レポート提出 基礎知識の習得は お好きな時間にマイペースで	実技スクーリング  [介護技術を中心に、教室で学びます。] 全8回で介護技術を習得 6時間×8回 みんなでわいわい 楽しく介護技術をマスター	実 習  [介護の現場を体験&実習します。] 5日間で介護技術を習得 施設実習8時間×2日 在宅サービス提供現場見学6時間×1日 ホームヘルパーサービス同行訪問4時間×2日 実際の施設で本番しながら 学習の総まとめ

6. 応募条件 テルウェルボランティアセンタに登録し、積極的にボランティア活動に参加していただける方。
(登録していただくボランティアセンタ)
愛媛県在住者...NTTグループ生活支援・介護ボランティア愛媛
香川県在住者...テルウェル香川介護サービスセンター
徳島県在住者...テルウェル徳島ボランティアクラブ
高知県在住者...NTTグループネットワーク「きずな高知の会」
へ登録していただきます。
7. 開催場所 各県にある「ニチイ学館」にて受講していただきます。
※愛媛県・・・松山教室、今治教室、たきはま教室、宇和島教室
※香川県・・・高松教室、屋島教室、丸亀教室
※徳島県・・・徳島教室、二軒屋教室、名東教室
※高知県・・・高知教室、南国教室、安芸教室、高岡教室、中村教室
8. 申込締切日 平成15年8月15日（金曜日）
9. お申し込み・お問合わせ 〒790-0874 愛媛県松山市南持田町40-3
テルウェル西日本株式会社 厚生福祉サービス営業部
福祉共済担当 担当：徳本・岡田
TEL (089) 932-9955 FAX (089) 933-1933

主催 財団法人 電気通信共済会 「社会福祉・地域貢献活動賛助会」

反響があるじゃないか。
効果があるじゃないか。



タウンページが
あるじゃないか。

タウンページは電話帳ではありません。
タウンページの情報はインターネットでも電話でも
調べることができるんです。

あなたのお店や企業の情報をタウンページに出してみませんか。
地域に密着し、役立つ情報を満載したタウンページならではの効果を、ぜひお試しください。
あなたの街を知りつくした、私たち四国地区のスタッフがお手伝いいたします。

広告のお申込み・お問合せは…

タウンページ ☎ 0120-506309 iタウンページ・おしえタウンページ ☎ 0120-478541

NTT四国電話帳株式会社 ☎ 本社／愛媛県温泉郡重信町田窪1940-1

テレホンセンタ	☎ 0120-478541	愛媛営業所	TEL089-915-8400	香川営業所	TEL087-851-4211
	FAX089-990-7529		FAX089-915-8440		FAX087-851-4212
高知営業所	TEL088-880-4012	徳島営業所	TEL088-654-6868		
	FAX088-880-4016		FAX088-654-6869		